

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足：Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は10日間程度）

ジャンル：知財

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 3 1 3 k 1

特許を読む目的に応じて、発明のポイントを効率よく正確に理解できる読み方のコツ、**生成 AI 活用**も解説します。

研究者・技術者のための特許の“効率的な”読み方

講師：よろず知財戦略コンサルティング 代表、医学博士、元 大王製紙株式会社 知的財産部長 萬 秀憲 氏

花王（株）にて商品開発研究に従事（入浴剤パブ等を開発）、東京研究所室長、栃木研究所室長を務める。1999年 大王製紙（株）入社、家庭紙開発部長、2005年よりH&PC事業部知的財産部長、執行役員、参与を歴任し2020年1月に退職。大王製紙（株）に入社当初は年間35件の特許出願数だったのを、様々な施策を行い、5年目には335件まで大幅に増やし、特許登録件数も年間300件以上となった活動を主導した実績がある。2020年4月より現職にて、延べ12社への知財戦略等のコンサルティング業務やセミナー講師など多岐に活躍。2021年より知財 AI 活用研究会へ参加し、汎用 AI（第3世代 AI & 第4世代 AI）の知財業務への活用を研究。

●日程 2025年3月13日（木） 13:30～16:30

●受講料 24,200円（税込/テキスト付） ※1/13（月）までにお申込の場合、**19,360円（2割引）**となります

<習得できること>

- 特許を読む目的に応じて、発明のポイントを効率的に正確に理解できる読み方のコツがわかる
- 生成 AI を活用した特許の読み方を理解できるようになる
- 特許の抜け道が見えてきて、新しいアイデア、発明に繋がる
- 自社技術の他社特許の侵害判断などにおける基本的な知識を習得できる

<プログラム>

1. 効率的に特許を読むための基本

- 1) 発明とは
- 2) 特許要件(新規性 進歩性 記載要件等)
- 3) 公報の種類(特許公開公報、特許公報等)
- 4) 特許出願に必要な書類 5種類(願書、特許請求の範囲、明細書、図面、要約書)
- 5) 「発明の本質」を考える重要性

2. 特許を読む

- 1) 特にしっかりと読む必要がある部分(特許請求の範囲、課題、効果)
- 2) 【特許請求の範囲】と【課題を解決するための手段】
- 3) 【発明が解決しようとする課題】と【発明の効果】
- 4) 【発明を実施するための形態】と【実施例】
- 5) 読み方を考える(速度を上げる、正しく読む)
- 6) 生成 AI を活用した特許の読み方の工夫

3. 特許を読む目的と目的に応じた効率的な特許の読み方

- 1) 発明のヒントを見つける
- 2) 自社技術の特許化し得るかを検討する(アイデアシート作成前の先行技術調査)
- 3) 自社技術の特許化し得るかを検討する(出願前の先行技術調査)
- 4) 自社技術の特許化し得るかを検討する(審査請求時の先行技術調査)
- 5) 自社ビジネスが他社特許権を侵害しないか検討する ～権利範囲の認定・解釈、侵害有無の判断～
- 6) 邪魔な他社特許が無効化できないか検討する ～通常の先行技術調査では抽出できない先行技術の見つけ方～
- 7) 他社特許、特許網の弱点を見つける
- 8) 他社特許出願を参考にした対抗出願を検討する
- 9) 他社特許パテントポートフォリオを作成する
- 10) IP ランドスケープに利用する

<講義概要>

特許の読み方は、特許を読む目的によって異なります。自社技術について権利化を考えているときと、自社ビジネスが他社特許権に侵害する可能性について判断しようとするときでは全く異なることは言うまでもありません。目的に応じて、効率よくかつ適切に特許を読めるようになることが重要です。また、特許を『効率的』に読むことが出来ると、調査も効率的にできるようになります。更に、他社特許の抜け道が見えてきて、新しいアイデア、発明に繋がっていきます。

また、『効率的』というのは、スピードが上がれば良いという意味でなく、発明のポイントを正しく、早く理解するということです。スピードが早くなっても、発明の本質を理解していないとせっかくの努力が無駄になってしまいます。

この目的に応じて効率よくかつ適切に特許を読める能力を身につけるには、本来はかなりの時間を要しますが、本講座では、短時間で習得できる読み方のコツを紹介します。

<お申込要項>


FAX
03-6261-7924

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

| | | | |
|--|--|--|-------------|
| 申込講座 | 2025/3/13 研究者・技術者のための特許の“効率的な”読み方 | | |
| 会社名※ | | | |
| 所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small> | 〒 | | |
| 参加者① | 氏名※ | | TEL※ |
| | 所属※ | | FAX |
| | | | 役職 |
| | Email※ | | @ |
| 会員登録 | <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small> | | |
| 参加者② | 氏名※ | | TEL※ |
| | 所属※ | | FAX |
| | | | 役職 |
| | Email※ | | @ |
| 会員登録 | <input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small> | | |
| 支払方法※ | <input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する | | |
| 支払予定日※ | <input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する | | |
| 備考※ | | | |

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

| | | |
|---|--------|---|
| A | FAX | 上記に必要事項をご記入の上、送信ください |
| B | E-mail | 送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください |
| C | Web | https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください |

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

| | |
|--------------|-------------------|
| 振込先銀行 | 三井住友銀行 |
| 支店 | 多摩センター支店（909） |
| 口座番号 | （普） 0 9 7 3 5 2 2 |
| 名義 | 株式会社テックデザイン |

| | | | | |
|-----------------------|---------------|--|------------|--------------|
| 主催 申込・問合せ先 | 名称 | 株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ） | | |
| | 住所 | 〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階 | | |
| | 電話 | 03-6261-7920 | FAX | 03-6261-7924 |
| | E-mail | entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ） | | |